



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

住民投票実施請求否決から10年余、市民投票条例可決！

市民参画のまちづくりへ、新たな1歩！

目次

P 1
市民投票条例可決
免震構造の
市立病院建設中

P 2
伊木の一般質問
4つの意見書可決

P 3
新たなまちづくり
ごみ有料化

P 4
議会人事
諸報告
マイサボ事業紹介

2003年、生駒市では高山地区の開発の是非を住民投票で問おうと署名活動が行われました。市民約15,000人(有権者の約6分の1)の署名を添えて市議会に提出されましたが、賛成4, 反対19で議会は否決。市民運動の先頭に立ったのは現在の市長山下真氏でした。これまで全国で行われた直接請求でも、議会の否決により住民投票が実施できないことがたびたびありました。

今回の条例は「生駒市自治基本条例」の44, 45条の市民投票に関する規定に基づき、市民参画の仕組みの一つとして提案されました。

今回、常設型の住民投票条例が可決したことから、市民は市政運営上の重要事項について、18歳以上の日本人や

永住外国人等で、一定の期間生駒市に在住の方の6分の1以上の連署をもって、市長に市民投票の実施を求めることができます。議会というハードル無しに市民の賛否の意志を確認することができるようになりました。投票資格者総数の4分の1以上の意志が示された時、議会や市長は結果を尊重しなければなりません。市民と議会の意志が異なるときなど、市長や議会に対して市民の意志を明確に示すことができ、議会制民主主義の補完となるでしょう。

なお、本制度を外国人参政権と混同されている方がありますが、参政権については公職選挙法の改正が必要で、本条例は外国人参政権を認めるものではありません。

地震に強い市立病院、2015年6月開院に向け工事が進んでいます 免震構造の効果を実感！



議会の予定

9月議会
9/5 議案説明
9/16 - 10/3
決算審査有り

12月議会
11/26 議案説明
12/5 - 12/22

3月議会
2/25 議案説明
3/5 - 3/24
予算審査有り

ホームページも
ご覧ください。
http://
www.eonet.ne.jp/
~ikomanomirai

6月5日、東生駒駅前の建設現場で免震装置を視察。免震体験車にも乗り、阪神淡路や東日本大震災のような大地震が起きても免震構造の病院では手術や処置が継続できると実感しました。工



事は7月中には最上階まで鉄骨が組まれる予定で、順調に進んでいます。

6月27日には市立病院の院長予定者、地元医師会代表、学識者、市民で医療連携を話し合う専門部会が4回目の会議を開催。10月には地域の医療連携や地域包括ケアの仕組み作りについて答申が出される予定です。

伊木まり子 市政報告会のご案内

日時：8月9日(土) 14時-16時
会場：セイセイビル 301会議室

紙面の関係で省略した内容もお伝えします。
みなさん、お越し下さい。

市民公益活動推進の新たな仕組みを！



市内のボランティア団体やNPOはセイセイビル向かいの市民活動推進センターを拠点に活動しています。



今年も30団体が「マイサポいこま」(市民が団体を選び活動を支援：市民一人あたりの支援額、今年809円)を活用し、事業に取り組みます。しかし、この制度では事業費の半分

は団体が負担するため、すてきな企画を考えても資金力がなければ実施できません。

一方、40年も前、経済的理由で高校進学に支障のある子どものために活用して欲しいと市に寄附された1200万円は利息を活用したもののそのまま残っていることを知り、寄附者の思いが市政に反映されているのか疑問に思いました。寄附も公益活動です。寄附により公益活動を支援したい方もおられるのではないかと思います。寄附を積み立て市民公益活動を支援する仕組みの検討を求めました。

6月議会 4つの意見書可決、国に提出



手話言語法の制定を求める意見書を提出

学校や社会で手話を使うことが認められなかったため、進学や就職の際に辛い思いをされた方がたくさんありました。手話が当たり前に使われるようになることを願い山田耕三議員、吉村議員と共に意見書を提出。全議員が賛同、国に提出することになりました。

他国の方の命も奪いました。二度と命をおろそかにする国にはなりません。私は意見書に賛成しました。

地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書に賛成し可決

地域包括ケアについては12月議会でその必要性について一般質問で取り上げました。国に対する適切な支援を求める本意見書に賛成しました。

集団的自衛権に関する憲法解釈を変更しないことを求める意見書、特定秘密保護法の廃止を求める意見書に賛成し可決



日本は法治国家です。主権在民。憲法は権力の暴走を止めるものです。その憲法を国会で議論することも無く、政府の考えで都合良く解釈を変えてはなりません。それでは政府の暴走を止められなくなります。しかも集団的自衛権は歴代の自民党政権ですら憲法上行使できないとしてきたものの、特定秘密保護法と相まって日本を戦争のできる国にする動きに繋がります。第2次世界大戦では若者をはじめ多くの命が失われ、

子どもの医療費助成を通院も中学校卒業までに拡充するとともに、窓口無料とすることを求める意見書には反対しました(否決)

3月議会で入院医療費の補助を中学生まで拡充する案に賛成(p3)。今回の意見書は外来医療費の無料化と一部負担金もなくす提案です。担当課はこの提案により生じる市の費用負担を年間約2億円と試算。手厚い子育て支援には賛成ですが、財源には限度があります。この意見書には賛成できませんでした。

総合計画に「妊婦を受動喫煙から守る」姿勢を明記！

6月議会には第5次総合計画の後期計画が提案されました。市の計画案には市議会からの提案が盛り込まれましたが、その一つは私が提案した「周りの人は妊婦の受動喫煙に配慮する」という記載です。その他「かかりつけ医を持つことを推奨します」も議会提案として採用され、盛り込まれました。

発癌だけでなく、タバコの煙は流産、早産、低出生体重児の原因になり、危険です。



子どもからお年寄りまで元気なまちへ

教育・スポーツ・芸術施策の推進へ



図書室や広場のある玄関口に変身！

ベルテラスいこま5階の図書室には授乳室や屋外カフェテラスがあり、様々な世代が利用できます。3階のベルステージでは、5月30日の世界禁煙デーには保健所、市の健康課が禁煙を呼びかけました。昨年の9月議会で実現は難しいとして反対の声が上がり、会期延長・再議の一因となったアンテナショップも開店。大ホール建設計画の中止から8年、生駒の玄関口は人が集い、人を育むところとなりました。

《報告》市と市民実行委員会の共催事業

第4回 いこま国際音楽祭 2/25-3/2

今回は国内外の歌曲をふんだんに取り入れ、東北の民話をもとにしたオペレッタも上演。日本人オペラ歌手2人に韓国からバス、ドイツからアルトの歌手が加わり、舞台には生駒市の北部の池の写真を背景に生駒の伝統工芸竹細工のモニュメント(市民ボランティアの手作り)が飾られました。映像録画も市民ボランティアが担当。市と市民の協働でどこまでやれるのか？ 音楽文化の発展に留まらず、新たなまちづくりの可能性を感じました。さて、今年の企画は？？



次は今年11月18日開宴！

子どもの医療費：

入院費の助成を中学生まで拡充（3月議会）

これにより、4月1日から、未就学児の通院・入院、小・中学生の入院にかかる医療費は自己負担金から一部負担金を除いた額が助成されることとなります。一部負担金は1ヶ月・1医療機関あたり、通院500円、入院1,000円（2週間以内の入院は500円）。一旦、窓口で支払いますが、後日、還付されます。

来年1月、北部スポーツセンターがオープン！

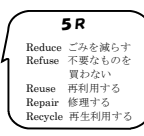
災害時避難場所に指定されてきた旧サンヨースポーツセンターの体育館、テニスコート、グラウンドなどを購入し、総合スポーツ施設として整備する計画です。私は3月議会で購入予算に賛成しました。オープンは来年1月の予定。子ども達がスポーツに親しみ、アスリートへの夢にも繋がる施設、様々な年代の方が体力に応じて参加できる施設、桜や北部の自然や歴史を家族で楽しむ拠点として活用していただきたいと思います。

北小・北中を小中一貫校へ
南こども園整備へ
協議が進んでいます

将来世代により良い地球環境を残そう！

総合計画に5Rの推進を明記！

来年4月から家庭ごみの有料化が始まります



3月議会で家庭系ごみを有料化する条例が可決しました。

家庭系ごみの内、燃えるごみは収集後市内の清掃センターで焼却し、灰を大阪湾に埋め立てます。大阪湾の埋立処分場は平成39年に受入れ終了を予定。燃えるごみを減らすことができれば大阪湾への埋立も減らすことができますし、市のごみ処理にかかる経費、焼却場建替えにかかる経費も節約できます。消却に伴うCO₂も削減できます。

全国の約6割の自治体が導入している有料化について生駒市でも検討を重ね、まずは有料化せずに「ごみ半減トライアル」を実施。

しかし、参加した市民から有料化しないでごみ消却量の大幅削減は困難、有料化はやむを得ないと報告があり、市は条例を提案。

ノーベル平和賞を受賞したアル・ゴア氏が地球温暖化による食糧危機、海面上昇により住む土地の奪われる人々・・・等、警告を發してすでに7年です。将来の子ども達に健全な地球環境を残したい私は1日も早いごみ減量施策の実施を願い賛成しました。

有料化により見込まれる約12,600万円の収益はごみ減量のための補助金や地球温暖化防止のための施策に当てるとの予定です。



伊木は監査と市民福祉委員会を担当



生駒市議会では正副議長候補の所信表明を行わないため、私は個別に候補者から所信を伺い選挙に臨みました。私が投票した中谷議員、角田議員が正副議長に選ばれました。

議会選出の監査委員については全員協議会で私を含め3人が推薦され、3人の中から私が務めることになりました。

常任委員会については希望した市民福祉委

員会への配属となり、委員長を務めることになりました。市民福祉委員会では『地域包括ケアシステムについて』調査することになりました。先進地を訪問し、取り組みを学び、次期介護保険事業計画に役立てたいと考えています。また、議長から広報広聴委員会の委員に指名され、今年も市民懇談会の開催や議会報の発行を担当します。

病院問題以外にも取組もうと張り切っていたのですが・・・早々に転倒

皮膚科の知識も活用したい・・・

私の最大のテーマは救急医療や小児科二次医療を充実させ地域医療を安心なものとする市立病院の開設ですが、3月議会で今年度の病院事業会計予算が可決、病院建設も順調に進んでいます。そろそろ、他の分野にも取り組みたい、皮膚科医の知識も活用したいと思っています。

全国規模の皮膚科学会に出席。アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、女性医師の就労、学校保健などを聴講。乳幼児期のアトピー性皮膚炎はしっかり治療し皮膚症状を改善させることにより、将来の食物アレルギー発症が抑えられるなど、再確認。また、学校保健における診療科の枠を越えた連携が話し合われていました。

に加え、内服ワクチンも受けて帰宅。幸い副反応もなく、親も受診回数が減り好都合です。生駒市の子育て支援施策に参加し、ママ友もできたと喜んでいきます。

4月30日にはいこま乳児保育園の竣工式に出席。日を改めて、同敷地内にある乳児院を訪ねました。育児放棄や家庭の事情で入所している子ども達の明るい笑顔が印象的でした。しかし、病気をすると入院先に困っているとのこと。市立病院の開院が待たれます。また、入院時に求められる付き添いに苦慮されており、支援の必要性を感じました。

空き家対策を実践しよう・・・

両親が亡くなった夫の実家を活用しようという一大決心。連休に大掃除を始めたのですが、早々に足首を痛めて松葉杖のお世話に。今はほぼ普通に歩けるようになりましたが、まだ簡易な装具を着用、スニーカーで登庁しています。道路の段差の怖いこと、ドアの重さに閉口。障害者用トイレの引き戸にほっとしました。今回の経験を今後の活動に活かしたいと思っています。

子育てを身近で見ながら・・・




近くに住む娘が2月に出産。

仕事と子育ての両立を目指しています。娘を育てた頃には予防注射は1回に1種類。次は1ヶ月以上明けてと指導されましたが、今では同時接種が一般的。両腕、両太ももの注射



～私も参加するNPO法人からのご案内です～

NPO法人 生駒の地域医療を育てる会より
今年のテーマは 《マイサポ事業のご案内》
予防・医療・介護・福祉を一体的に提供する
“地域包括ケアを推進する”



10月：先進地見学バスツアー（滋賀県）
1月：医療情報連携システム紹介・講演会
みなさん、ご参加を！

団体番号**26番**をご支援ください。届出は**8/12**まで



編集後記

首都はスカイツリー完成時のようにオリンピック招致で盛り上がっているようです。その一方で、主権在民を掲げた憲法が変えられてしまい、戦争に向う国になるのではと、不安が広がっています。閣議決定がなされた今となつては、武器を使う国になるか否かはこれからの法案改正を巡る国会の議論に係っています。将来世代に曇りのない青空、戦争をしない日本を残せるように、今ほど賢明な判断が求められる時はありません。熱中症にご注意を！ まり子